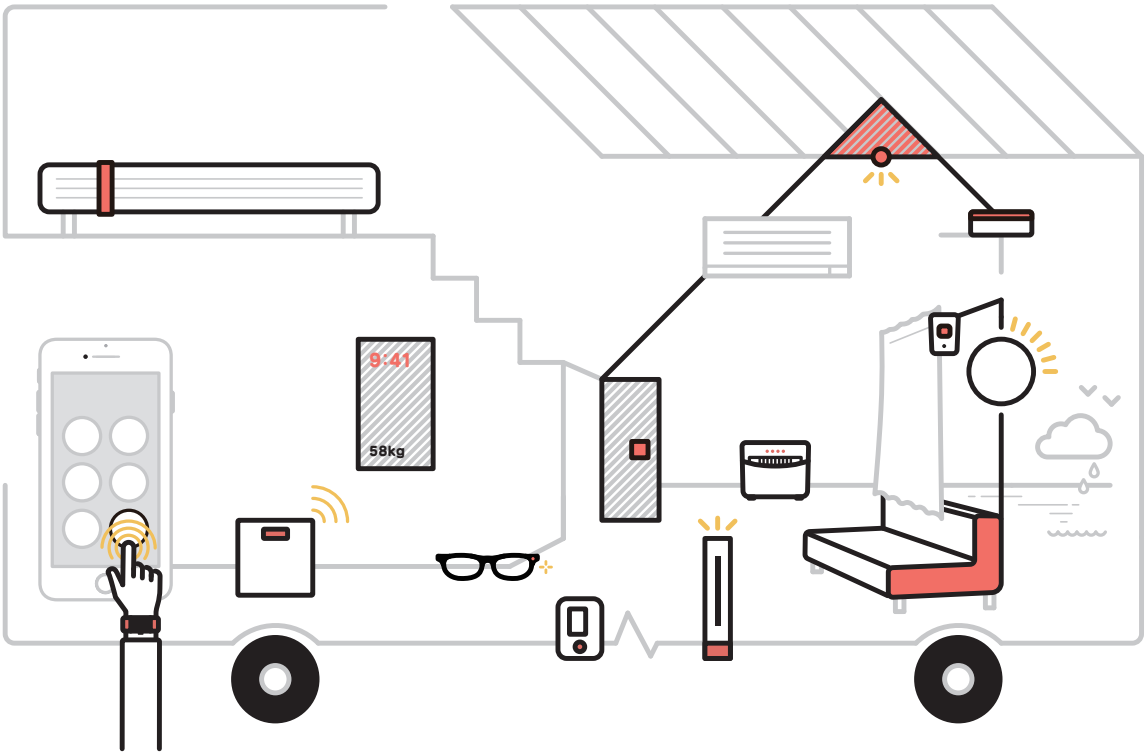
Press release

Jun.22
2017

横浜市、NTTドコモとIoTスマートホームを活用した「未来の家プロジェクト」を開始

～人工知能（AI）を通じて、居住者に気づきを与え、快適な室内環境を実現～

and factory株式会社（本社：東京都目黒区、代表取締役 CEO：小原崇幹、以下and factory）は、横浜市、株式会社NTTドコモ（本社:東京都千代田区、代表取締役社長:吉澤 和弘、以下 NTT ドコモ）と共同で、2017年4月11日（火）に横浜市が立ち上げた「I・TOP横浜※1」内のプロジェクトとして、IoTおよび人工知能（AI）を活用し、居住者のリラックス度や活動量などの生活状態を可視化することで気づきを与えることや、快適な室内環境づくりを行うことを検討・推進する「未来の家プロジェクト」を本日より開始します。



単身世帯、高齢者世帯や在宅介護が増加する中、居住者が自らの生活状態や離れて暮らす家族が居住者の生活状態を把握しきれずに日常を過ごしています。三者は、住宅メーカーやIoT機器メーカーなどの横浜市内の中小企業などと協力し、IoT家電やセンサーなどを実装した「IoTスマートホーム™※2」を用いて実証実験を行い、将来的に家が居住者の生活状態を把握し、AIを通じて居住者の状態に合わせた快適な室内環境へ自動調節する未来の家の実現をめざします。

本プロジェクトでは、約2年間にわたり、IoTスマートホームを用いた実証実験を通じて、実際の生活ログを蓄積、解析することで、居住者の生活状態や快適さについて評価・検討を行う予定です。

本件に関するお問い合わせ先

and factory 株式会社　担当：佐藤　☎ 03-6712-7646　03-6712-7647　sato-y@andfactory.co.jp

Press release

2/4

May.22
2017

and factoryの取り組み

and factoryは、2016年8月19日に福岡市にて近未来の生活を体験できる最先端デバイスを1カ所に集結させた日本初のスマートホステル「＆AND HOSTEL※3」をプロデュースしました。客室に設置されたあらゆるIoT製品をひとつのアプリから操作、制御するプラットフォームアプリ「＆IoT」を起点に、あらゆるシーンでIoT体験が可能で、部屋自体がエンターテイメント空間となり、宿泊体験を観光目的の一つとして楽しめる宿泊施設です。第1号店に続き、2017年4月に東京・浅草北エリアに2号店を、5月に東京・上野エリアに3号店をプロデュースし、IoT体験ができる宿泊施設を多店舗展開しています。

and factoryは本プロジェクトにおいて、日本初のスマートホステル「＆AND HOSTEL」のプロデュース経験とプラットフォームアプリ「＆IoT」の開発実績を活かし、IoTスマートホームの居住者のユーザー体験設計と、居住者に便利に快適に生活してもらうためのUI設計、アプリ開発を行っております。また、今後協業する企業様との事業検討、企画を行い、実証実験から事業化を推進し、IoTスマートホームを普及させていく役割を担っていきます。

アプリケーションイメージ

「IoTスマートホーム」とは

IoTスマートホームでは、住宅の様々なところに設置されたIoT機器やセンサーで、住む人の生活を丸ごとスキャンすると共に、収集された各種時系列データに基づき、AI技術によりIoT機器を自動制御することで、快適な生活をサポートし、健康管理もしてくれる未来型の住宅を目指しています。

従来、健康管理に関わるバイタルデータや食事などのデータは、各種多様なデバイスを用いて収集、計測は行われていますが、それぞれのデータを一元的に見ることができないことや、使用者自身がデータ入力するのが手間になり、継続して使われづらいという課題がありました。

IoTスマートホームでは、複数のデータをクラウド上に収集し、スマートフォンなどの一つの管理画面で可視化されるため、居住者は手軽に健康や生活状態を把握できます。さらに、居住者はIoT機器などを一括で制御、管理できるアプリケーションを用いて、手軽に家の中に設置されているIoT機器などの操作が可能になります。将来的には、AI技術を活用することで家が居住者の生活状態を理解し、室内環境を快適で健康な状態に調節することが可能になることを目指します。

本件に関するお問い合わせ先

and factory 株式会社　担当：佐藤　☎ 03-6712-7646　03-6712-7647　sato-y@andfactory.co.jp

Press release

3/4

May.22
2017

設置しているIoT機器一覧

IoT機器	操作 / データ収集	機能（調節・制御）
ストレス解析ソファー	データ収集	座るだけで、心拍数情報の取得
ワットチェッカー	データ収集	コンセントに設置し、消費電力値の取得・可視化
活動量計	データ収集	居住者が身に着け、1日の活動量を可視化
体重計	データ収集	洗面台前の床に埋め込み型で設置し、自動的に居住者の体重を取得
空気センサー	データ収集	部屋の気温湿度、騒音レベル、気圧、CO2濃度等の取得
ベッド	データ収集	敷布団の下に設置し、睡眠の深さや呼吸等を収集、解析
メガネ	データ収集	まばたきの回数や視線情報を取得、解析
ミラー	データ収集	前日の体重、睡眠解析データや今日の天気などの情報を可視化
血圧計	データ収集	血圧値の取得し、アプリケーションで可視化
食事解析カメラ（スマートフォン）	データ収集	食卓の上に設置し、カメラを押すだけで、食事を記録し、栄養素を解析
カーテン	操作	アプリケーションを通じて、カーテンが自動的に開閉
赤外線学習リモコン	操作	アプリケーションを通じてTV、エアコン、空気清浄器、香りデバイスの制御
開閉センサー	操作	玄関ドア、冷蔵庫の扉等のドア開閉回数の数値化・可視化
照明	操作	アプリケーションを通じて照度、色のコントロール
スマートロック	操作	アプリケーションを通じて鍵の開閉
空気清浄器	操作	アプリケーションを通じて、空気清浄器の制御
香りデバイス	操作	アプリケーションを通じて、香りを放出

本件に関するお問い合わせ先

and factory 株式会社　担当：佐藤　☎ 03-6712-7646　03-6712-7647　sato-y@andfactory.co.jp

Press release

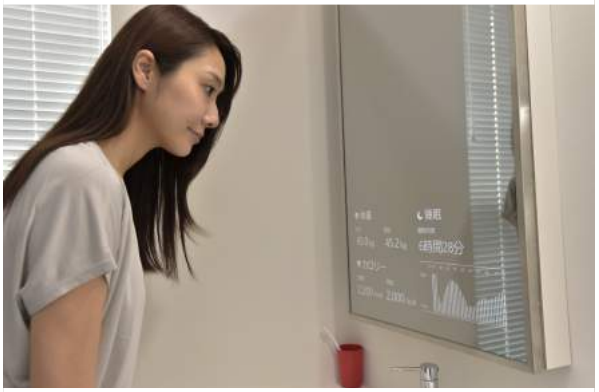
4/4

Jun.22
2017

IoTスマートホームでの生活イメージ

自分の睡眠状況が可視化

ベッドに設置されているセンサーで、睡眠時間、途中の覚醒回数、睡眠時の活動量などが計測され、睡眠の質をチェック



朝起きて洗面台へ

前日分の体重、摂取カロリー・消費カロリー、睡眠データと、洗面台の前に埋め込まれた体重計に乗ると現在の体重がリアルタイムにスマートミラーに表示

ダイニングテーブルで食事

食事するテーブルの上にスマートフォンを置き、食事を撮影。撮影された食事データが自動解析され、メニューを特定して、摂取カロリーや栄養素をアプリに表示

リビングスペースでリラックス

ソファーに座っているとその時のストレス状態を計測。また、アプリからリモコン操作でTVのチャンネルを変え、エアコンの温度も調整。気分に合わせて照明を好きな色に調光してリラックス空間を演出

※1「I・TOP横浜」とは、横浜市が2017年4月に立ち上げた横浜経済の強みである「ものづくり・IT産業の集積」を活かし、IoT等を活用したビジネス創出に向けた交流・連携、プロジェクト推進、人材育成等の場となる「IoTオープンイノベーション・パートナーズ(I・TOP横浜)」のことです。
※2「IoTスマートホーム」はNTTドコモの商標です。
※3「&AND HOSTEL」はand factory株式会社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ先

and factory 株式会社　担当：佐藤　☎ 03-6712-7646　03-6712-7647　sato-y@andfactory.co.jp